

世界・日本経済の展望 ～転換期の日本の進路とアカデミアの役割～

講師

武田 洋子

株式会社三菱総合研究所 常務研究理事



日本銀行入行、米国ジョージタウン大学公共政策大学院修士課程修了後、三菱総合研究所へ入所。チーフエコノミスト、政策・経済研究センター長、シンクタンク部門長などを歴任。2025年10月より現職。社会保障国民会議 有識者会議、新戦略策定のための資産運用立国推進分科会、全世代型社会保障構築会議、税制調査会、財政制度等審議会など政府の主要会議の委員を務めるほか、東北大学特任教授（客員）、東京大学運営方針会議学外構成員も兼務。

現在、中東情勢をはじめとする地経学的リスクの高まりや、AI技術の劇的な進化により、世界は歴史的転換期を迎えています。日本国内では、超高齢社会に伴う人手不足に加え、AIをはじめとするテクノロジーの進展により、求められる人材像や働き方が大きく変化しています。その解決の鍵として、産学連携やリスキングの中核を担うアカデミアの役割に期待が寄せられています。

武田先生が所属する三菱総合研究所は、政策立案や経営戦略策定、ITサービスまでを一貫して担い、社会課題の解決に向けた提言・実装支援を行う総合シンクタンクです。本講演では、世界が大きな転換点を迎える今、変化する社会課題をどのように捉え、日本の未来につながる価値へと転換していくのかについてお話しいたします。また、新たな時代に求められる人材像や、アカデミアが果たすべき社会的役割について、最新の知見を交えながら解説いたします。

日時

2026. 7. 8 (水) 18:00～19:00

会場

医学部 6号館 1階講堂 / オンライン (Zoom)

定員

会場 50名 / 400名 (先着順)

※定員数に達した場合は参加をお断りすることがあります

申し込み

お申し込みフォームまたはQRコードから7月3日(金)までにお申し込みください
https://share-na2.hsforms.com/1r_f9S9LyTC2CW6DeJC2IPQnj5ke
※開催日までにご登録のメールアドレスに参加URLをお送りします



◆ 公開セミナーとして開催いたしますので、どなたでもご参加いただけます



未来型医療創造卓越大学院プログラム

共催：東北大学病院臨床研究推進センター バイオデザイン部門